

**活動目標** 研究成果を本構想シートにまとめ、研究論文を作成しよう。

参考資料「課題研究メソッド 2nd Edition (配付資料)」

<タイトル・副題(仮)>

--

<キーワード(3つ以上)>

--

1 はじめに

研究テーマに関する現状	なるべく初見者にも研究内容がわかるよう、専門的な言葉や、意味・定義が定まっていない言葉の説明を行う。研究テーマに対するデータがあれば、図表で説明する。
リサーチクエスチョン	どのようなリサーチクエスチョンを立てたのか述べる。
先行研究・事例	先行研究・事例を参照し、すでにわかっている内容と、これから調査・実験が必要な内容を明らかにする。
研究意義	研究に取り組むことで、どのような変化(貢献)が想定されるのかを述べる。
仮説とその根拠	リサーチクエスチョンについて立てた仮説とその根拠を述べる。

仮説を検証する方法	どのような研究方法や学術的視点で仮説を検証するかを簡単に示す。
-----------	---------------------------------

## 2 研究方法

調査・実験の目的	調査・実験で何を明らかにしたいのか、研究の目標を具体的に記す。
調査・実験の目的に到達する方法とその理由	目的を達成するための調査・実験方法を述べ、なぜその研究方法が適しているか、どれくらいの精度で目的に到達できるのか、研究方法の限界（何ができて、何ができないのか）も含めて書く。実験の場合、測定原理（どのような原理で測定できるのか）を記す。
研究対象、試料、条件	社会的な調査を行った場合は、研究対象者の属性や特徴など、研究結果に影響を与える要素はもれなく記す。自然科学の実験を行った場合は使用した試料の種類と関連する基礎物性（電気的性質、熱的性質など）について述べる。自分で試料を作成した場合は、その生成過程を記し、どのような条件下で作成したのか述べる。
調査・実験の手順	どのような条件で調査・実験を進めるのか、図なども用いて詳細に示す。

<p>研究結果 のまとめ 方・データ の分析方 法</p>	<p>得られた結果（生データ）をどのように分析して結論を得たのか、その方法を示す。</p>
---	---

### 3 結果

<p>調査・実験 結果を補 足するた めの図表</p>	<p>データから一番伝えたい内容が一番わかる図表を載せる。</p>
<p>調査・実験 の説明</p>	<p>各調査・実験から得られたデータから言えることを述べる。</p>
<p>調査・実験 結果の要 約</p>	<p>結果の説明が複雑な場合には、「要するに〇〇ということだ」という形でまとめる。</p>

#### 4 考察

結果に含まれる事実	得られた結果に対して新たな問いを立て、その答えを示すステップを繰り返し、結果に含まれている事実（そのような結果が出た理由や分析によって得られた事実）を引き出す。追加の調査・実験を行った場合は、その結果と考察も記載する。
次の研究につながる問い	考察の中で立てた問いの中から、答えが見つからなかったものを示して、次の研究につながる。

#### 5 結論・今後の展望

結論	<p>取り組んだリサーチクエスチョンへの答えを示す締めくくりの部分。自分が取り組んだリサーチクエスチョンを再度示し、得られた研究結果をもとに論理を組み立て、その答えを書く（ここでは、結果や考察で述べられていない新たな事からは記述しない）。</p> <p style="text-align: right;">※目的－仮説－結論に一貫性があるか、よく確認すること</p>
今後の展望	この研究成果によって、今後どのような展開があるかを示す部分。考察の中で立てた新たな問いから新たな研究が考えられる場合は、それを示す。また、その研究成果によって、社会や学術面にどのような貢献が見込めるのかを書く。

## 謝辞

研究に具体的な助言をくれた方や、研究に必要な物品やデータを提供してくれた方について感謝を述べる部分。その際、所属と役職、名前を記載する。ただし、グループや指導教員については書かない。

## 参考文献

論文を作成する際に引用したものについてのみ記載する。本文で引用していない文献については資する必要はない。

「名前（発行年）：論文タイトル，平成〇年度岩手県立一関第一高等学校理数科課題研究集，ページ。」のように引用する。

例 1：東山太郎，平泉花子（2004）：胆沢扇状地が生活に与える影響，平成 23 年度岩手県立一関第一高等学校理数科課題研究集，12・15.

「名前（発行年）：書籍名，出版社，全ページ数。」のように引用する。

例 2：両磬二郎（2013）：一関第一高等学校の全て，一関出版，250 p.

「名前（出版年）：タイトル，雑誌名（サイト名），URL（資料にアクセスした日）」

例 3：栗駒雪子（2006）：高崎城築城の歴史，一関ジャーナル 第 24 号，[http://www.\\*\\*\\*.co.jp/](http://www.***.co.jp/)（2013.3.1）

## 付録

本章で書ききれなかった補足内容（インタビュー調査の詳細な回答内容、本文に掲載できなかった図や表、実験装置の証左、計算方法の詳細など）で、示さないと本文を理解することができないものについて示す。